

第226回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成30年9月期 —

〔調査方法〕

会員企業174社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今年水準)および「向こう3か月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」

【売上】…「増加」-「減少」

【採算】…「好転」-「悪化」

【資金繰り】…「好転」-「悪化」

【仕入単価】…「下落」-「上昇」

【従業員】…「不足」-「過剰」

【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

〔調査対象業種〕

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業

製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業

卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業

小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業

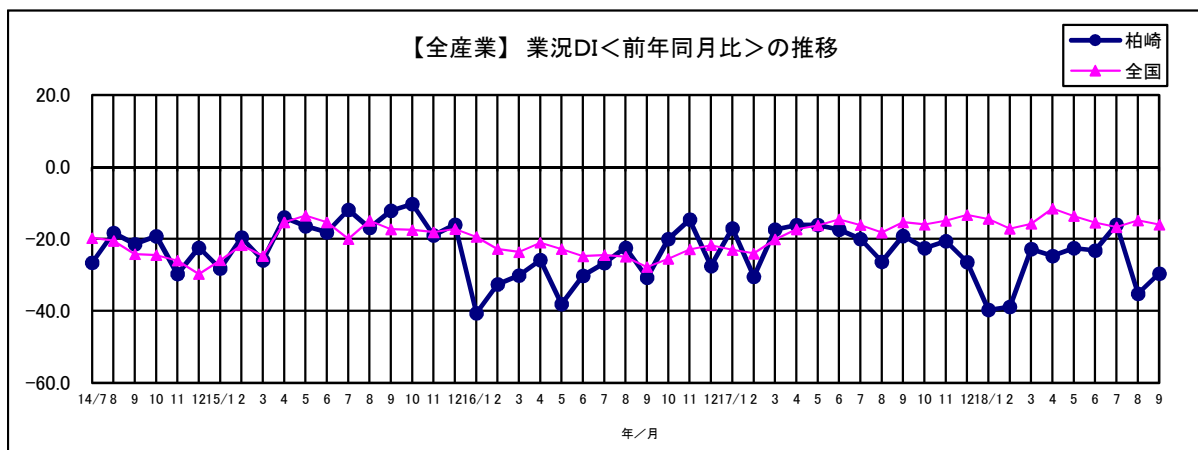
サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	46	25	29	35	174
回答数	27	33	17	12	27	116
回答率(%)	69.2%	71.7%	68.0%	41.4%	77.1%	66.7%

◆概況(全産業合計)

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月~12月
業況	柏崎	▲24.7	▲22.5	▲23.2	▲16.0	▲35.2	▲29.6	▲32.8
	全国	▲11.5	▲13.6	▲15.4	▲16.7	▲14.8	▲16.0	▲14.9
売上	柏崎	▲22.8	▲23.4	▲20.3	▲15.2	▲39.7	▲31.6	▲34.3
	全国	▲5.8	▲9.1	▲10.1	▲11.5	▲9.0	▲12.2	▲8.3
採算	柏崎	▲27.8	▲25.5	▲31.3	▲21.3	▲40.7	▲29.5	▲33.8
	全国	▲11.9	▲14.8	▲15.0	▲16.4	▲14.7	▲17.6	▲14.4
資金繰り	柏崎	▲12.8	▲8.8	▲10.5	▲10.6	▲18.4	▲15.6	▲16.8
	全国	▲7.5	▲8.3	▲8.5	▲9.0	▲9.4	▲10.4	▲10.0
仕入単価	柏崎	▲50.3	▲42.6	▲48.2	▲43.1	▲42.7	▲45.7	▲46.2
	全国	▲42.4	▲41.6	▲42.2	▲43.3	▲43.0	▲41.9	▲37.2
従業員	柏崎	19.8	18.5	24.5	24.4	21.1	23.0	28.0
	全国							25.4
資金借入難易感	柏崎	3.8	0.9	8.2	1.5	5.9	4.2	1.4



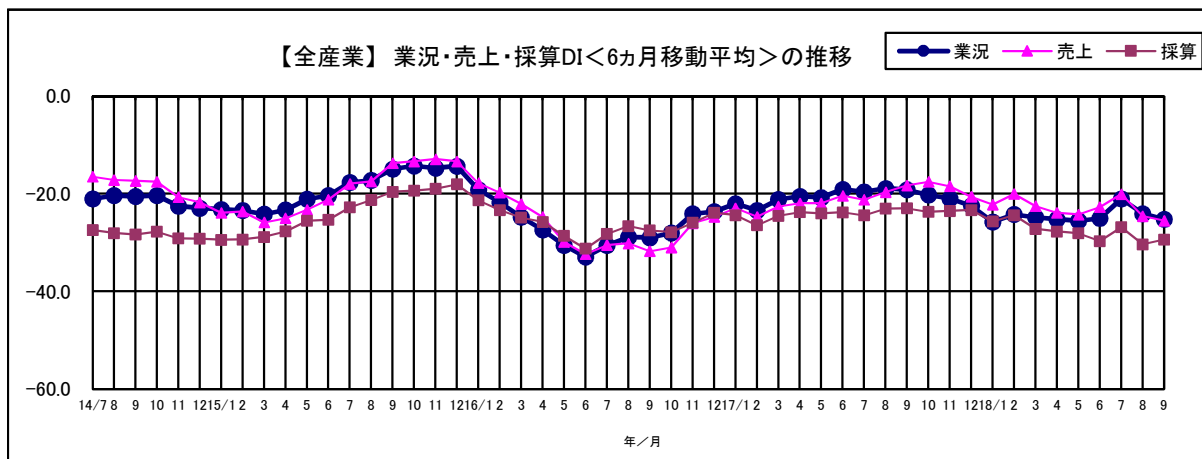
柏崎地域全体の業況DI値(前年同月比)は▲29.6となり、前月より5.6ポイントと若干改善した。「好転」と回答した企業が微増した。

業種別にDI値を見ると、建設業はほぼ横ばい、製造業・小売業・サービス業は若干改善、卸売業が悪化した。しかし、改善も「悪化」から「不変」、悪化も「好転」から「不変」への変化が主因であり、全体的には実体はほぼ横ばい。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

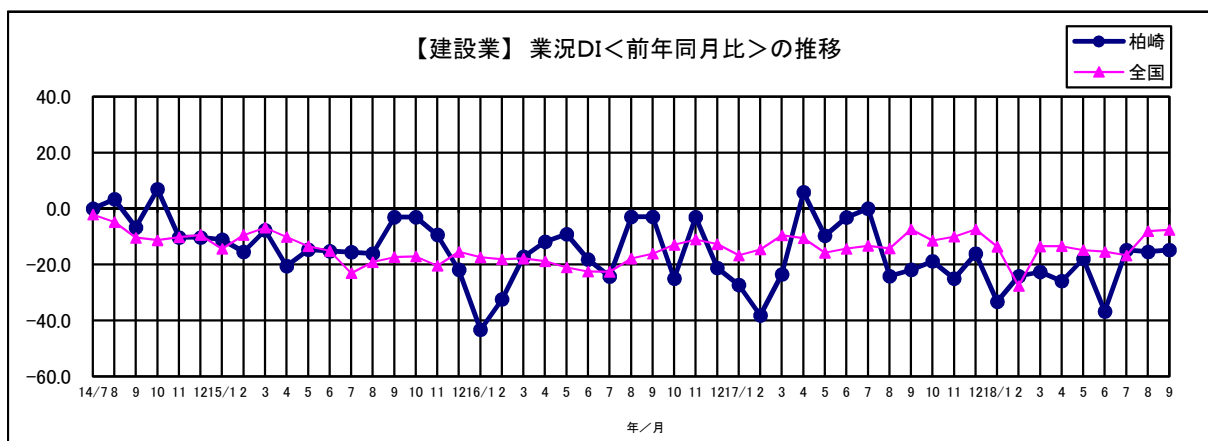
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

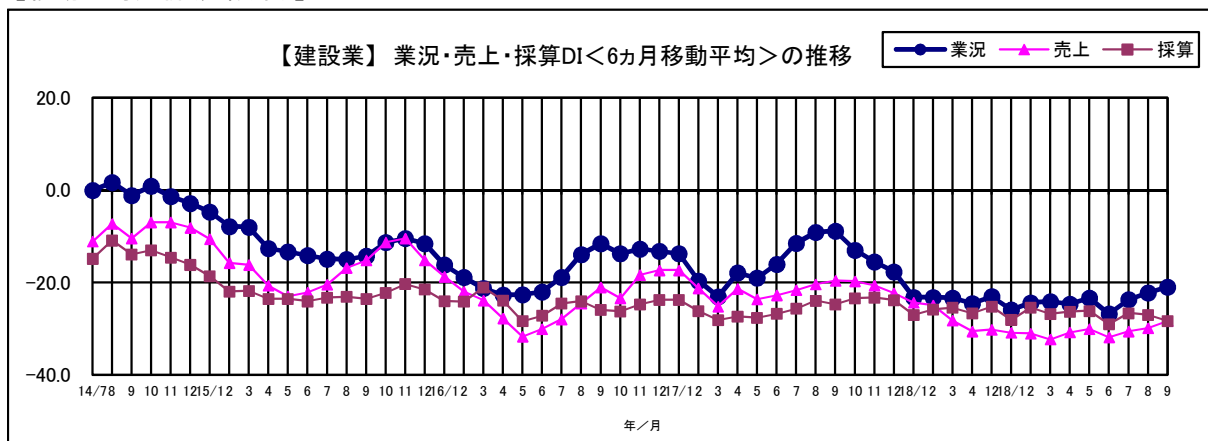
【建設業】

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月～12月
業況	柏崎	▲ 25.9	▲ 17.9	▲ 36.7	▲ 14.8	▲ 15.4	▲ 14.8	▲ 25.9
	全国	▲ 13.1	▲ 14.8	▲ 10.1	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 10.5
売上	柏崎	▲ 29.6	▲ 25.0	▲ 36.7	▲ 22.2	▲ 26.9	▲ 29.6	▲ 25.9
	全国	▲ 10.4	▲ 14.1	▲ 8.7	▲ 9.8	▲ 10.2	▲ 6.9	▲ 5.6
採算	柏崎	▲ 25.9	▲ 25.0	▲ 36.7	▲ 22.2	▲ 23.1	▲ 37.0	▲ 37.0
	全国	▲ 8.8	▲ 13.8	▲ 11.1	▲ 17.1	▲ 13.7	▲ 13.2	▲ 14.1
資金繰り	柏崎	▲ 7.4	▲ 10.7	▲ 10.0	▲ 11.1	▲ 11.5	▲ 18.5	▲ 18.5
	全国	▲ 5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 6.6	▲ 5.6	▲ 4.3	▲ 9.2
仕入単価	柏崎	▲ 40.7	▲ 32.1	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 42.3	▲ 29.6	▲ 29.6
	全国	▲ 48.8	▲ 44.9	▲ 45.0	▲ 45.5	▲ 42.5	▲ 39.5	▲ 36.5
従業員	柏崎	18.5	25.0	20.0	37.0	42.3	37.0	25.9
	全国							33.2
資金借入難易感	柏崎	3.7	0.0	3.3	0.0	3.8	3.7	3.7



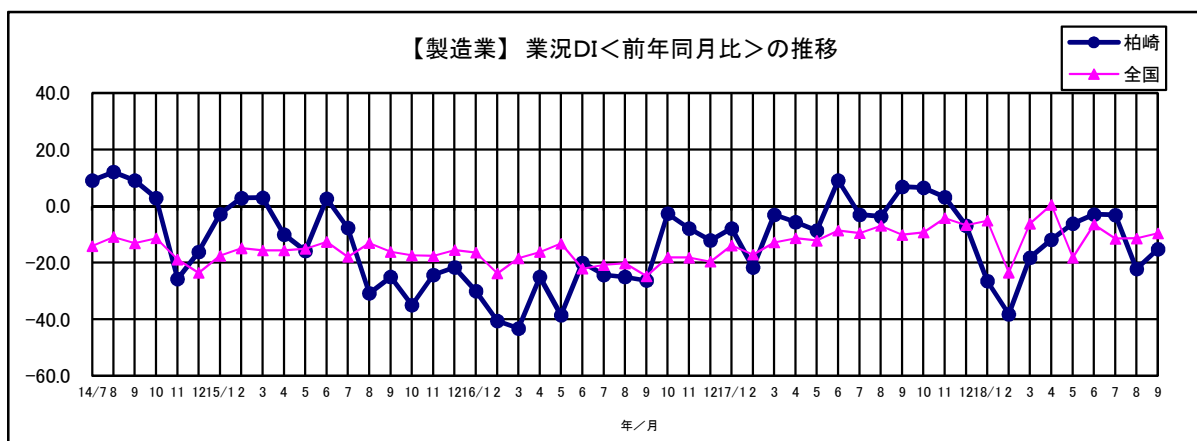
業況DI値は▲14.8となり、前月とほぼ同様となった(前月期▲15.4)。「不変」の回答割合が多かった。内容別にみると、業況は、総合工事、設備工事、職別工事業とも「不変」回答が多い。「人手不足感」は依然強い。

【移動平均分析(建設業)】



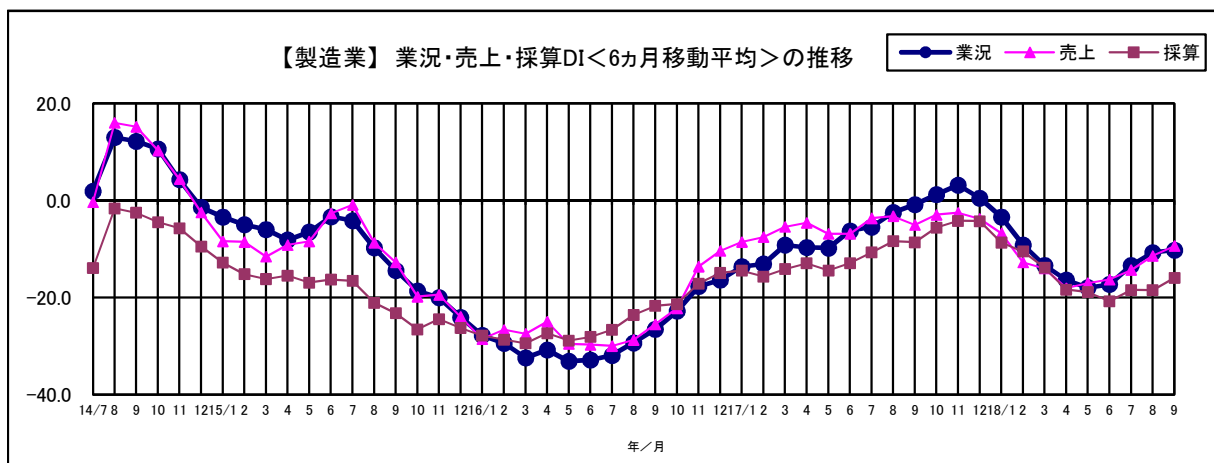
【製造業】

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月～12月
業況	柏崎	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 2.9	▲ 3.1	▲ 22.2	▲ 15.2	▲ 27.3
	全国	0.5	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 11.5	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 7.4
売上	柏崎	▲ 14.7	3.0	▲ 5.9	0.0	▲ 29.6	▲ 9.1	24.2
	全国	3.9	1.9	3.8	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 2.1	1.3
採算	柏崎	▲ 17.6	▲ 6.1	▲ 14.7	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 15.2	▲ 30.3
	全国	▲ 7.7	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 13.0	▲ 10.6	▲ 13.0	▲ 6.8
資金繰り	柏崎	2.9	▲ 3.0	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 7.4	▲ 12.1	▲ 18.2
	全国	▲ 3.9	▲ 6.8	▲ 5.0	▲ 7.0	▲ 7.7	▲ 9.8	▲ 6.4
仕入単価	柏崎	▲ 58.8	▲ 51.5	▲ 47.1	▲ 43.8	▲ 37.0	▲ 42.4	▲ 30.3
	全国	▲ 47.1	▲ 49.4	▲ 51.3	▲ 50.4	▲ 48.0	▲ 49.0	▲ 41.6
従業員	柏崎	17.6	12.1	23.5	15.6	22.2	12.1	15.2
	全国							21.9
資金借入難易感	柏崎	14.7	9.1	11.8	12.5	7.4	6.1	3.0



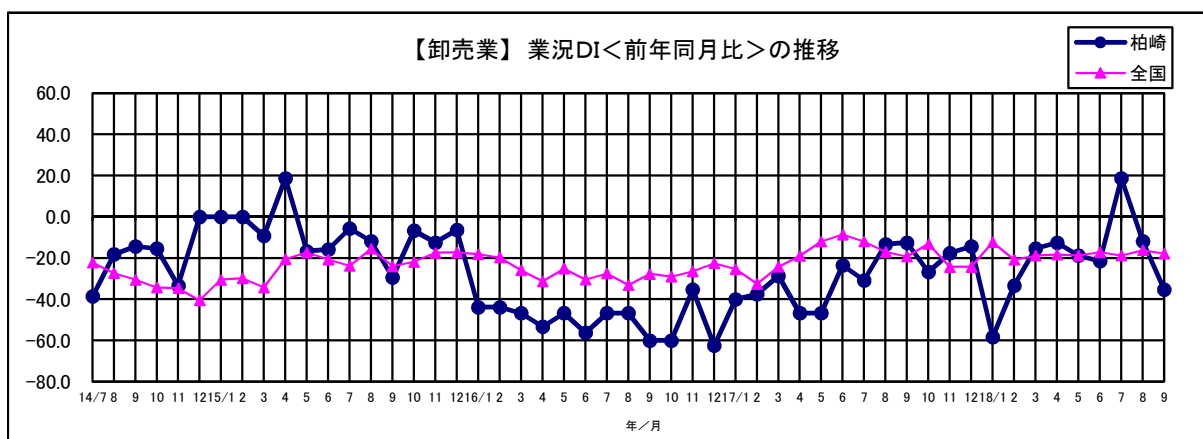
業況DI値は▲15.2となり、数値的には好転したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい圏内。機械金属関連で「好転」と回答する企業がみられた。下記移動平均分析をみても、緩やかに好転している。しかし、仕入単価は上昇している。
従業員DI値はずっと「不足」であり、人手不足感は強い。

【移動平均分析(製造業)】



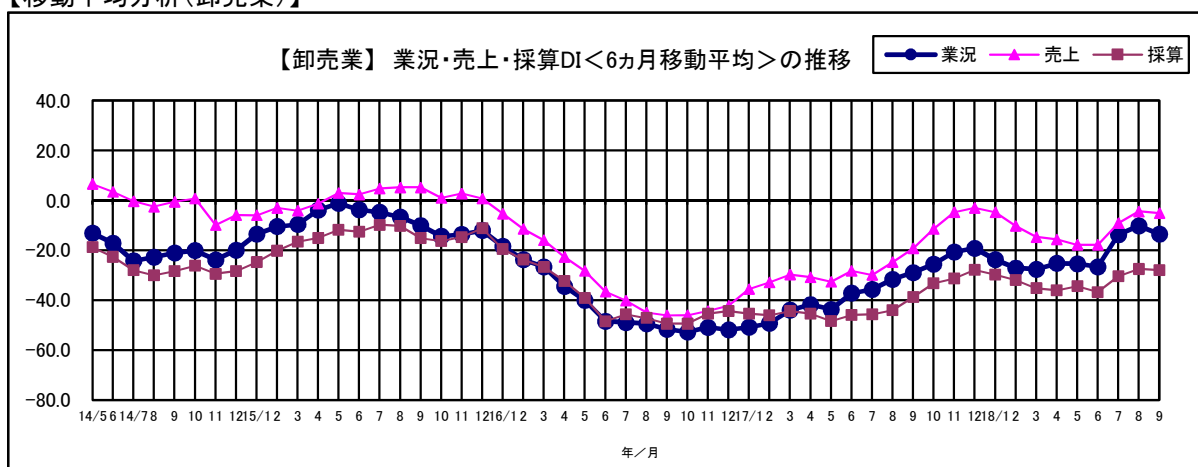
【卸売業】

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月～12月
業況	柏崎	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 21.4	18.8	▲ 11.8	▲ 35.3	▲ 29.4
	全国	▲ 18.3	▲ 19.4	▲ 17.1	▲ 18.8	▲ 16.1	▲ 17.8	▲ 12.2
売上	柏崎	▲ 6.3	▲ 12.5	▲ 7.1	18.8	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 17.6
	全国	▲ 14.5	▲ 13.8	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 4.1	▲ 10.3	▲ 5.2
採算	柏崎	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 35.3
	全国	▲ 17.2	▲ 13.4	▲ 11.8	▲ 14.4	▲ 8.8	▲ 13.1	▲ 10.8
資金繰り	柏崎	▲ 12.5	0.0	▲ 14.3	▲ 6.3	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 17.6
	全国	▲ 4.8	▲ 2.8	▲ 6.2	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 8.9	▲ 8.0
仕入単価	柏崎	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 56.3	▲ 41.2	▲ 52.9	▲ 52.9
	全国	▲ 32.8	▲ 35.5	▲ 36.0	▲ 39.4	▲ 41.9	▲ 46.9	▲ 40.4
従業員	柏崎	6.3	12.5	7.1	31.3	23.5	23.5	23.5
	全国							18.8
資金借入難易感	柏崎	▲ 6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	5.9	0.0



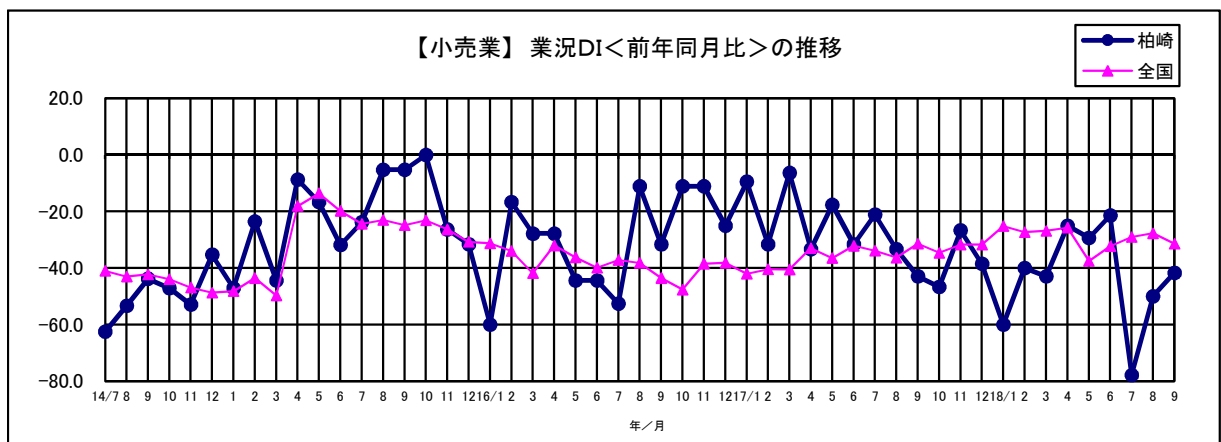
業況DI値は▲35.3となり前月期より23.5ポイント悪化したが、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。建材・鉱物卸売業では、好転と回答する企業も一部みられたが、仕入単価が上昇しており採算は厳しい。
依然、従業員の人手不足感は強い。

【移動平均分析(卸売業)】



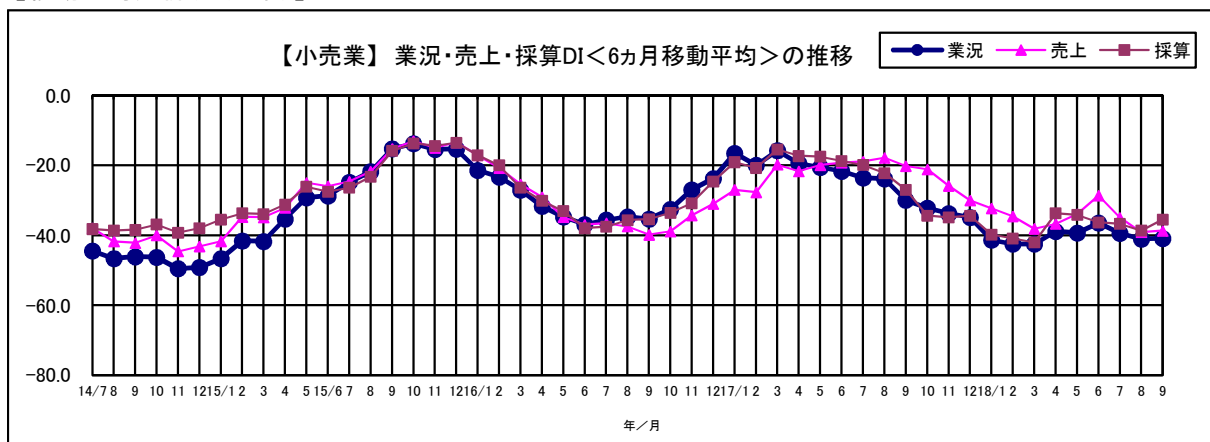
【小売業】

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月～12月
業況	柏崎	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 21.4	▲ 77.8	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 25.0
	全国	▲ 25.7	▲ 26.5	▲ 32.3	▲ 29.0	▲ 27.7	▲ 31.4	▲ 27.9
売上	柏崎	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 14.3	▲ 77.8	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 25.0
	全国	▲ 17.6	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 24.4	▲ 23.2	▲ 30.4	▲ 18.8
採算	柏崎	▲ 16.7	▲ 29.4	▲ 35.7	▲ 55.6	▲ 58.3	▲ 16.7	▲ 16.7
	全国	▲ 16.8	▲ 27.3	▲ 28.8	▲ 24.4	▲ 21.7	▲ 27.9	▲ 22.9
資金繰り	柏崎	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 16.7
	全国	▲ 14.8	▲ 15.5	▲ 16.2	▲ 14.8	▲ 16.2	▲ 19.6	▲ 16.8
仕入単価	柏崎	▲ 58.3	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 66.7
	全国	▲ 39.1	▲ 35.0	▲ 34.3	▲ 38.4	▲ 37.4	▲ 34.7	▲ 32.2
従業員	柏崎	▲ 8.3	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	16.7
	全国							21.6
資金借入難易感	柏崎	▲ 8.3	0.0	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 8.3	0.0



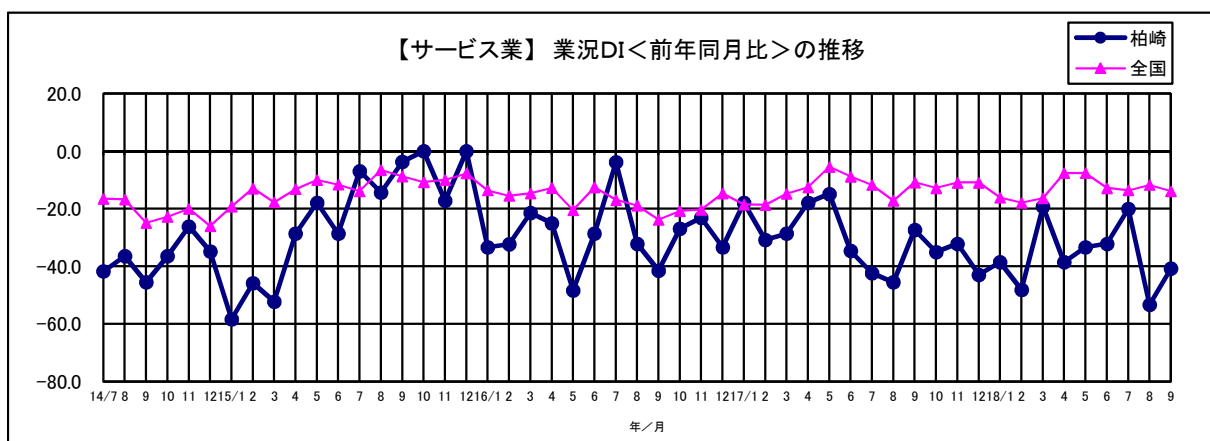
業況DI値は▲41.7となり、前月より若干好転した。売上・採算DIも好転している。しかし実体は、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、移動平均分析を見てもほぼ横ばいである。

【移動平均分析(小売業)】



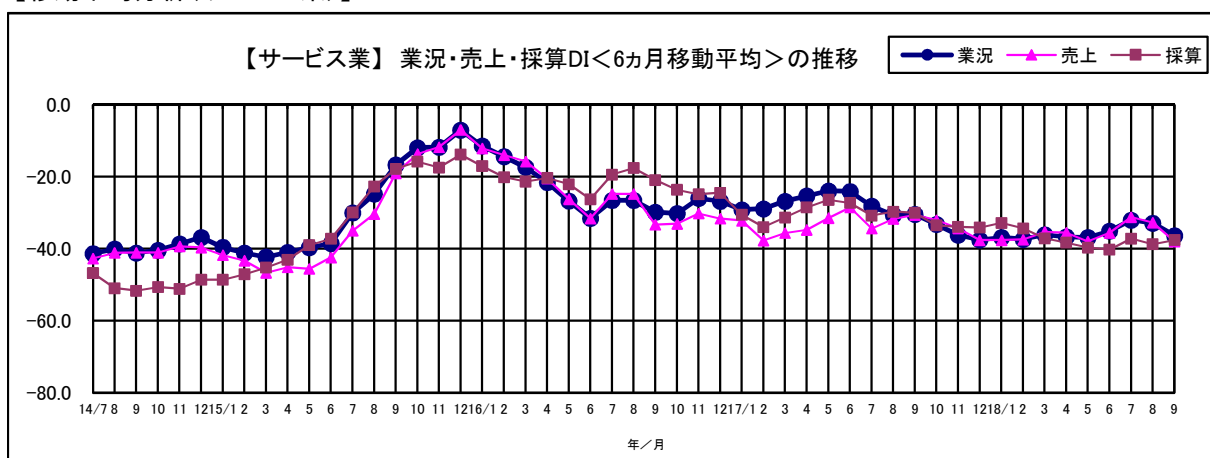
【サービス業】

項目		18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	先行き見通し 10月～12月
業況	柏崎	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 53.3	▲ 40.7	▲ 44.4
	全国	▲ 7.6	▲ 7.6	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 11.7	▲ 13.9	▲ 15.4
売上	柏崎	▲ 30.8	▲ 43.3	▲ 28.6	▲ 16.0	▲ 53.3	▲ 55.6	▲ 55.6
	全国	0.9	▲ 2.7	▲ 8.9	▲ 10.4	▲ 5.1	▲ 11.0	▲ 12.1
採算	柏崎	▲ 42.3	▲ 36.7	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 37.0	▲ 40.7
	全国	▲ 11.8	▲ 10.9	▲ 16.4	▲ 13.4	▲ 16.4	▲ 18.3	▲ 16.6
資金繰り	柏崎	▲ 23.1	▲ 10.0	▲ 7.1	▲ 8.0	▲ 23.3	▲ 11.1	▲ 14.8
	全国	▲ 7.6	▲ 8.8	▲ 9.3	▲ 10.0	▲ 9.4	▲ 7.9	▲ 9.1
仕入単価	柏崎	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 60.7	▲ 40.0	▲ 46.7	▲ 51.9	▲ 55.6
	全国	▲ 40.5	▲ 40.0	▲ 40.8	▲ 40.7	▲ 43.4	▲ 40.1	▲ 36.0
従業員	柏崎	38.5	36.7	46.4	40.0	26.7	29.6	44.4
	全国							30.1
資金借入難易感	柏崎	3.8	▲ 3.3	14.3	▲ 4.0	10.0	7.4	0.0



業況DI値は▲40.7となり前月より若干好転した(前月期▲53.3)。採算DI値も好転しているが、「悪化」から「不変」への変化であり実体はほぼ横ばい。
従業員DI値をみると、依然人手不足感が強い。

【移動平均分析(サービス業)】



●9月期調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<製造業>

- ・全体としては好調だが、一部、顧客が生産調整で仕事が減っている。(機械・金属製造業)

<卸売業>

- ・イトーヨーカドー丸大柏崎店閉店により売上減少。(食料品・衣料・日用雑貨卸売業)

<小売業>

- ・本業である小売部門を、PB(プライベートブランド)事業部が売上・利益とも上回った。本業の小売では、業界全体の落ち込みに歯止めがかからず、同業者の倒産が相次いでいる。PB事業部では、全国小売業最大手との取引が2019年2月よりスタートし、新規での販売先が増え、売上増が期待できる。また、そのような大手企業との取引が、自社の信用、信頼度を上げる大きなバックボーンともなっている。さらに、PB事業部の販売に加速をかけていく方向である。(一般小売業)

<サービス業>

- ・曜日周りでは前年より日曜日が一日多く、プラスが見込めたが、台風の影響などで利用者、売上ともに大きく落ち込んだ。(一般サービス業)

●【参考】全国版LOBO調査に寄せられた各業種の特徴的なコメント

<建設業>

- ・ビル建設などの民間工事が多く、売上は改善。ただし、技術者を中心とした人手不足は深刻であるため、着工時期をずらすなど、受注を調整し、対応せざるを得ない。(一般工事業)
- ・公共工事や住宅着工戸数の減少から、受注量の確保に難航しているほか、人件費や外注費、燃料費などのコスト増も深刻で、売上・採算ともに悪化した。(内装工事業)

<製造業>

- ・自動車・建設業界を中心とした旺盛な設備投資需要を背景に、売上は好調。収益増を従業員に還元するため、今夏の賞与を増額した。(産業用機械製造業)
- ・鉄鋼を始めとする原材料や、燃料費、運送費等の上昇により、収益が圧迫されていることに加え、相次ぐ災害の影響から、部品供給に遅滞が生じている。(金属製品製造業)

<卸売業>

- ・今夏の猛暑や北日本での低温、西日本豪雨、台風等、全国的な異常気象の影響から、農産物の生育が鈍り、仕入価格が高騰している。北海道地震等による物流の混乱も重なり、当面は高値が続くそうだ。(農産物卸売業)
- ・国内外問わず引き合いが多く、売上は改善。人員増を目的に、ベースアップを実施し、さらなる増収を図る。(金属加工機械卸売業)

<小売業>

- ・台風21号と、それに伴う関西国際空港の一時閉鎖・航空会社による減便の影響から、インバウンドの来店客数が減少した。風評被害の拡大など、影響の長期化を懸念している。(医薬品等小売業)
- ・駅前の再開発やイベントの開催などにより、客足は増加。さらなる集客を目的に、店舗のリニューアルを検討している。(各種商品小売業)

<サービス業>

- ・北海道地震の影響から、国内観光客が減少したほか、これまで売上を牽引してきたインバウンドからも、予約のキャンセルが相次ぎ、売上は大幅に落ち込んだ。(宿泊業)
- ・深刻な人手不足を背景に、生産性向上を目的とした業務システム・アプリケーション開発依頼が増加している。(ソフトウェア業)